

ユーザマニュアル



CR6000

MANUAL VERSION 01
RELEASE DATE: JUNE 2014



www.codecorp.com



Configuration Guide



[YouTube.com/codecorporation](https://www.youtube.com/codecorporation)

code

ADVANCED BARCODE READERS

CodeReader-JP Corporation

適合安全基準



Code Reader 6000 (CR6022_01) は、FCC 規格適合のテストを受け、全ての FCC 規則・基準に準拠していることが認められました。

重要事項 : FCC RF Exposure 適合性の要求に準拠するには、他のアンテナあるいはトランスミッターと結合して配置したり操作しないこと。

注 意 : 適合性認可団体によって認可されていない変更・修正は、該当装置の使用を禁じることがある。



Code Reader 6000 (CR6022_01) は、CE の基準とガイドライン適合テストを受け、CE 基準の適合範囲に合致していることが判明した。特に、EMC の要求の EN 55024、ESD EN 61000-4-2、Radiated RF Immunity EN 61000-4-3、PFMF EN 6100-4-8、EFT EN 61000-4-4、Conducted RF Immunity EN 61000-4-6、EN 55022 Class B Radiated Emissions and Class B Conducted Emissions

Code 社は、ケースを開けられるか、あるいは何らかの改造された場合には、製品保証を無効にします。

CR6000 ユーザマニュアル

Copyright © 2014 Code Corporation.

All Rights Reserved. (すべての権利は当方に帰属します。)

本マニュアルに記述されたソフトウェアは、ライセンスアグリーメント条項にしたがってのみ使用されるものです。本マニュアルのいかなる記載も、いかなる形態でも、いかなる手段でも Code 社の書面での許可がないものは複製できないものとする。これは、例えば写真のコピーあるいは情報記憶復元装置に記録することなどの電子的・機械的を問わずに含まれる。

免責事項

本マニュアルの内容は、無保証で提供されます。さらに、本文書は、Code 社の責務を表しているものではありません。Code 社は、これが正確であること、完全であること、あるいはエラーが無いことを保証しているものではありません。本文書のいかなる利用もユーザのリスクに帰属します。Code 社はアプリケーション、あるいは本文書に記載されているいかなる製品ないしアプリケーションの利用から発生する、あるいは関連して発生する製品の信頼性に対する責任を持つものではありません。

無認可事項

結果による禁反言、あるいは、Code 社のいかなる知的財産所有権の基であれライセンスは、付与されておりません。如何なる形式で Code 社のハードウェア、ソフトウェアおよびテクノロジーを利用することは、Code 社との契約によって管理されます。

下記は、Code 社の商標ないし登録商標です。

CodeXML, Maker, QuickMaker, CodeXML Maker, CodeXML Maker Pro, CodeXML Router, CodeXML Client SDK, CodeXML Filter, HyperPage, CodeTrack, GoCard, GoWeb, ShortCode, GoCode, Code Router, QuickConnectCodes, Rule Runner, Cortex

本マニュアルに記載されている他の全ての製品名は、関連する会社の商標であります。そしてこの場で認知されたものです。

Code 社のソフトウェアないし製品は、特許取得済みの発明物、あるいは特許申請中の発明物を含みます。

合衆国特許 : 6997387、6957769、6619547、7428981、6619547、6736320、7392933、7014113、7240831、7353999、7519239、7204417、6942152、7070091、7097099、7621453

Code Reader ソフトウェアは、Mozilla 公開許可バージョン 1.1 の下で配布される Mozilla SpiderMonkey JavaScript エンジンを使用しています。

Code Reader ソフトウェアは、独立した JPEG グループのワークの一部に基づいています。

一覧

1.0	- 同梱品	5
2.0	- ケーブルの取付けと取外し	6
3.0	- セットアップ	6
4.0	- GR6000 利用方法	7
5.0	- 専用スタンド利用方法	7
6.0	- DPM 読取の最適化	7
7.0	- 読取モードとバーコードの種類	7
8.0	- 読取距離	8
9.0	- リーダーフィードバック	8
10.0	- バーコード読取初期設定 On	9
11.0	- バーコード読取初期設定 Off	9
12.0	- リーダーID とファームウェア Ver	9
13.0	- 寸法・外観図	10
14.0	- USB ケーブル ピン配置	10
15.0	- RS232 ケーブル ピン配置	10
16.0	- リーダー ピン配置	11
17.0	- メンテナンス	11
18.0	- 保証	12

1.0 - 同梱品

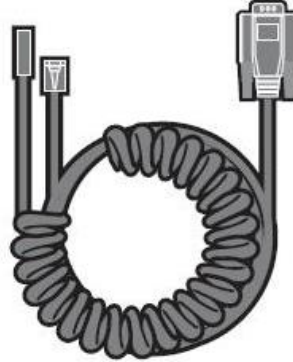
ご注文頂きましたセットに応じて下記製品が同梱されます。



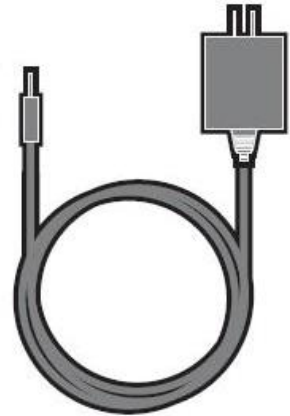
CR6000 本体



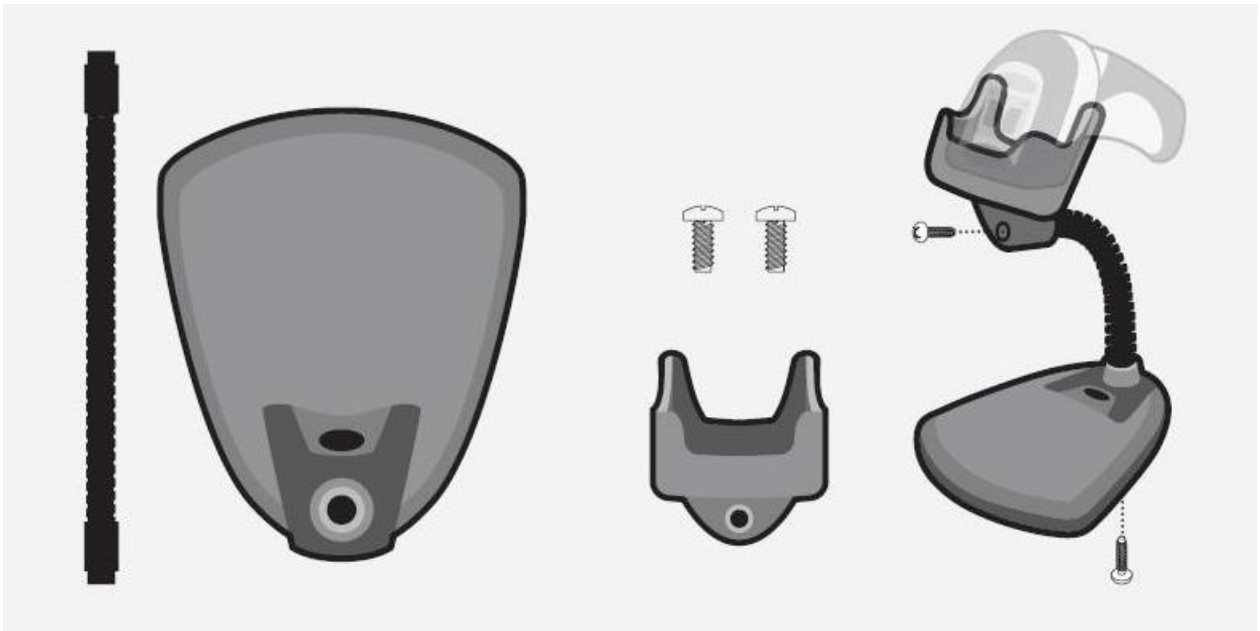
USB2.0 ケーブル



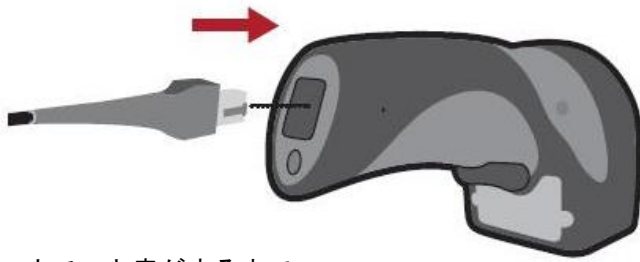
RS232 ケーブル



AC アダプタ (5VDC)



2.0 - ケーブルの取付けと取外し

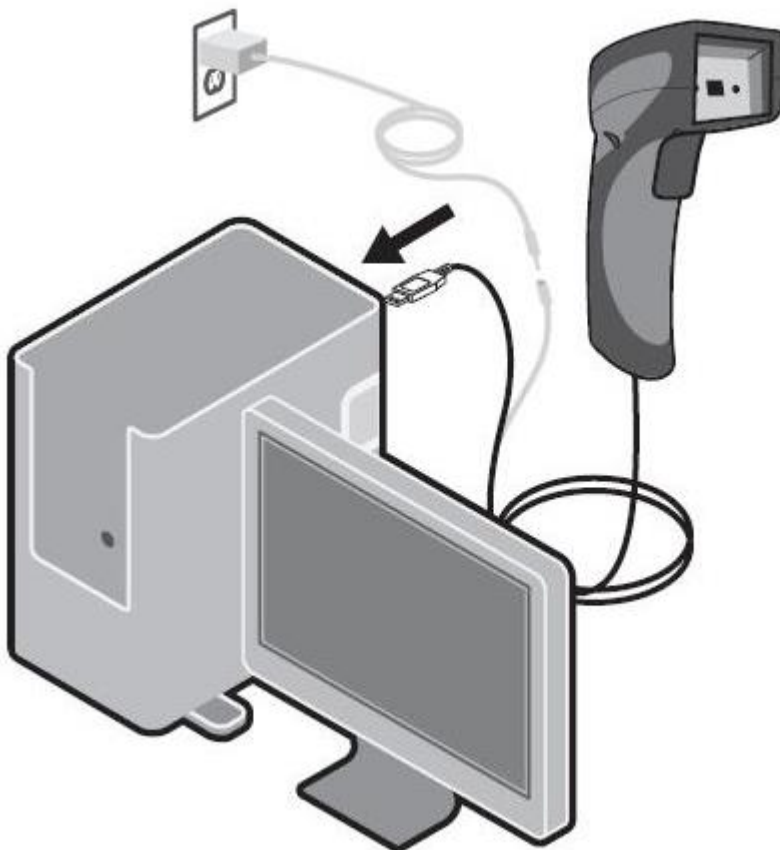


カチッと音がするまで
挿しこんで下さい。



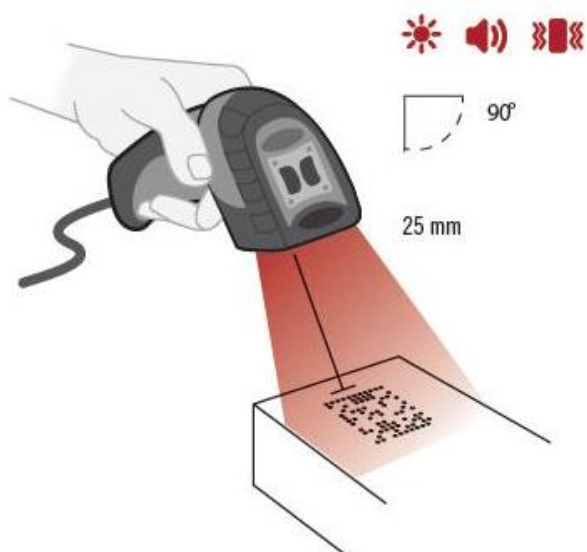
ピン等を穴に挿しこんで
抜いて下さい。

3.0 - セットアップ



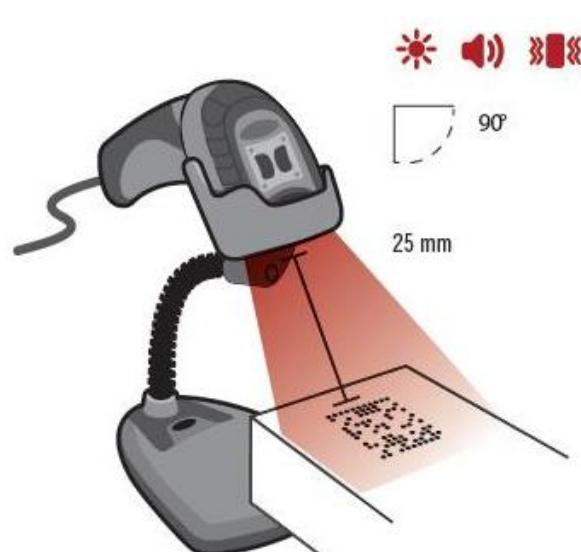
- ① 
10 秒間待って下さい
- ② 
LED が点灯します
- ③ 
ビープ音が 2 回鳴ります
- ④ 
バイブレーションが
1 回振動します

4.0 – CR6000 利用方法



距離約 25mm、角度 90 度が最適です。

5.0 – 専用スタンド利用方法



距離約 25mm、角度 90 度が最適です。

6.0 – DPM 読取の最適化

CR6000 の初期設定は Auto Mode に設定されています。Auto Mode は様々な DPM バーコードに対して調整を行いながら読取します。もしご利用になられる作業で DPM バーコードのタイプが限定されているならば特定の設定を行う事によって、より良い読取性能を発揮する事が可能です。DPM バーコード読取の最適化は設定シート表をご参照下さい。

7.0 – 読取モードとバーコードの種類

DPM バーコードの読取性能はコードと表面の状態に左右されます。読取モードを変更する場合は設定シートをご参照下さい。

読取モード	バーコード種類
Auto Mode (Default)	ドットピンとレーザーマーキングの様々な種類の DPM バーコードを自動的に LED 照明を調整しながら読取します。
Dark Field	1. ドットピン 15~45 度の角度 2. レーザーマーキング 90 度の角度 3. ドットピン 15~45 度の角度、レーザーマーキング 90 度の角度
Diffuse Bright	1. ドットピン 90 度の角度 2. レーザーマーキング 90 度の角度 3. ドットピン 90 度の角度、レーザーマーキング 90 度の角度
Direct Bright	紙に印刷されたバーコードを読取
Curved Surface	曲面に印刷されたドットピン、レーザーマーキングを 90 度の角度で読取

8.0 - 読取距離

高コントラスト DPM コード		
バーコード(セルサイズ)	最小距離 (mm)	最大距離 (mm)
Code 39 - 0.07mm	25 mm	50 mm
Code 39 - 0.19mm	20 mm	150 mm
GS1 DataBar - 0.26mm	0 mm	150 mm
UPC - 0.33mm	15 mm	200 mm
Data Matrix - 0.10mm	15 mm	45 mm
Data Matrix - 0.12mm	15 mm	60 mm
Data Matrix - 0.16mm	5 mm	75 mm
Data Matrix - 0.25mm	0 mm	100 mm
Data Matrix - 0.52mm	10 mm	200 mm
低コントラスト DPM コード		
バーコード	最小距離 (mm)	最大距離 (mm)
レーザーマーク	0 mm	35 mm
ドットピン	0 mm	70 m

※ 読取距離は、バーコードの品質と周囲の環境の影響を受けます。

9.0 - リーダーフィードバック

動作	トップLED	ビープ音	パイブレーション
電源投入時	緑LED点灯	1回	有り
ホストとの通信確立	点灯なし	2回	有り
デコード中	点灯なし	なし	無し
デコード成功&データ転送	緑LED点灯	1回	有り
設定コード読取&設定変更完了	緑LED点灯	2回	有り
設定コード読取&設定変更失敗	緑LED点灯	4回	有り

10.0- バーコード読取初期設定 On

初期設定では下記のドットピンとレーザーマーキングのDPMがOnになっています。
設定変更する場合は設定シートをご参照下さい。

Aztec	Data Matrix Rectangle
Codabar	All GS1 DataBar
Code 39	Interleaved 2 of 5
Code 93	PDF 417
Code 128	QR Code
Data Matrix	UPC/EAN/UPC-E
Data Matrix Inverse	

設定シートは下記 URL をご参照下さい。

http://www.codereader-jp.com/download_CR8000Family.html

11.0- バーコード読取初期設定 Off

初期設定では下記のバーコードシンボルはOffになっています。
設定変更する場合は設定シートをご参照下さい。

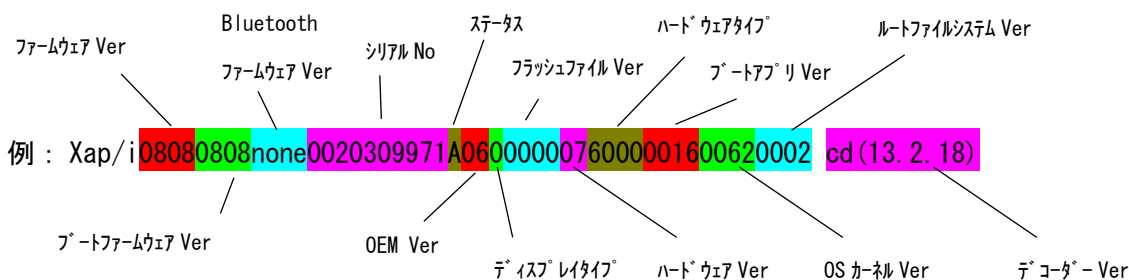
Codablock F	Micro PDF417
Code 11	MSI Plessy
Code 32	NEC 2 of 5
Code 39 Extended	Pharmcode
Full ASCII	
Code 39 Checksum	Plessy
Composite	Standard 2 of 5
Han Xin Code	Telepen
Hong Kong 2 of 5	Trioptic
IATA 2 of 5	Postal Codes
Maxicode	UPC-E Expansion
Matrix 2 of 5	

12.0- リーダーID とファームウェア Ver

リーダーID とファームウェア Ver を確認する際は、ノートパッド（メモ帳やWord）を起動して右記の設定コードを読取して下さい。



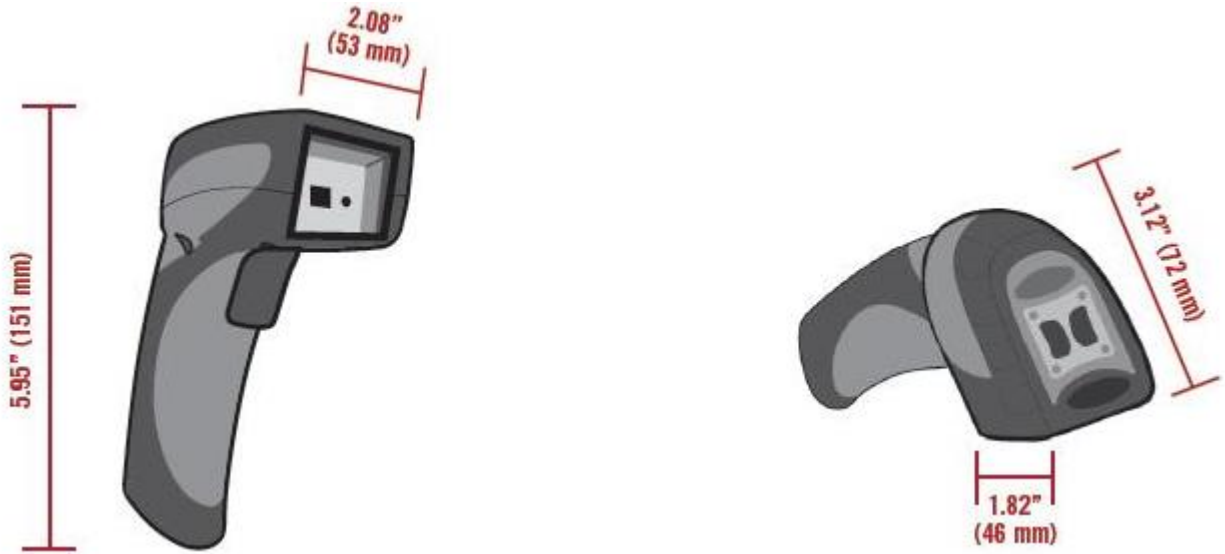
リーダーID とファームウェア Ver が下記のように表示されます。



※ リーダーのファームウェアは定期的にはアップデートされます。最新ファームウェアは下記 URL をご参照下さい。

http://www.codereader-jp.com/download_CR8000Family.html

13.0- 寸法・外観図



14.0- USB ケーブル ピン配置

1. RoHS 指令に準拠
2. 最大電圧許容誤差 : 5V+/-10%
3. 注意 : 最大電圧を超えた場合は、メーカー保証が無効になります

CONNECTOR A	NAME	WIRE	COLOR	CONNECTOR B
1	VIN	24A WG	RED	1
2	DM	28A WG	WHITE	2
3	DP	28A WG	GREEN	3
4	GND	24A WG	BLACK	10
SHELL	-	SHIELD	BARE	SHELL

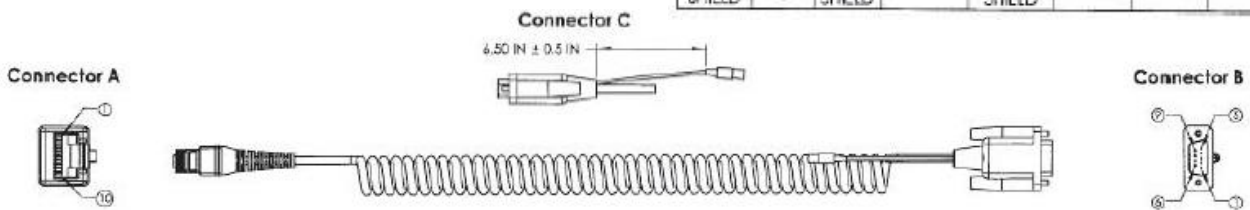


15.0- RS232 ケーブル ピン配置

1. RoHS 指令に準拠
2. 最大電圧許容誤差 : 5V+/-10%
3. 注意 : 最大電圧を超えた場合は、メーカー保証が無効になります

WIRING TABLE:

CONN A	NAME	WIRE	COLOR	CONN B	WIRE	COLOR	CONN C
1	VIN	24AWG	RED	9	24AWG	RED	TIP
4	TX	28AWG	BROWN	2			
5	RTS	28AWG	ORANGE	8			
6	RX	28AWG	YELLOW	3			
7	CTS	28AWG	GREEN	7			
10	GND	24AWG	BLACK	5	24AWG	BLACK	RING
SHIELD	-	SHIELD		SHIELD			



16.0- リーダー ピン配置

CR6000 のコネクタは RJ-50 (10P-10C) を使用しています。

Pin 1	+VIN (5V)
Pin 2	USB_DM
Pin 3	USB_DP
Pin 4	RS232 TX (アウトプット)
Pin 5	RS232 RTS (アウトプット)
Pin 6	RS232 RX (インプット)
Pin 7	RS232 CTS (インプット)
Pin 8	External Trigger
Pin 9	N/C
Pin 10	Ground

17.0- メンテナンス

CR6000 を、確実・効果的に利用するためには最小限のメンテナンスを行なう必要があります。下記にメンテナンスの説明を記載しますのでご参照下さい。

CR6000 の清掃

CR6000 の読取窓は、最も良いパフォーマンスを引き出すためにも清掃が必要です。読取窓は、リーダー本体の先頭部の中にある透明なプラスチック板です。読取窓に触れないで下さい。CR6000 は、デジタルカメラと同様に CMOS 技術を使用しています。読取窓が汚れていると CR6000 は、バーコードをスキャンできなくなります。

もし読取窓が汚れたら、柔らかくざらざらしていない布、あるいは水を湿らせたフェイシャルティッシュ（ローションあるいは添加物の含まれない物）できれいに拭いて下さい。読取窓をきれいにするために中性洗剤を使用したら、必ず水を湿らせた布あるいはティッシュで窓の洗剤を拭き取って下さい。

技術サポートと返却

修理返却あるいは技術サポートを必要とする場合には、購入店またはコードリーダー・ジャパン株式会社へ連絡をして下さい。

18.0- 保証

CR6000 は、Code 社の 5 年間の無償保証が付いています。

ユニバーサルスタンドとケーブルは 30 日間の無償保証が付いています。

保証条件

Code 社は、工業規格業務に合わせて製品を生産しています。Code 社の保証は、通常の操作が行なわれる環境を想定しているため、製品の材質や形状などの問題は保証対象外となります。この保証は、CR6000 の所有者へ提供したもので第三者へ譲渡することはできません。この保証書は、すべてのあらゆる免責事項、制限、この章の他の用語に依存します。

免責

以下の項目は保証外となります。修理した製品、変更した製品、あるいは Code 社の承認なしに不法改造した製品や Code 社の提供する操作手順などに記載された操作や手順以外による物理的異常、電氣的異常、浸水、激しい打撃、誤使用、不正使用、電力不足、正しくない電圧供給、極性の間違いなどの不注意や事故による製品については、如何なる理由でも保証対象外となります。通常の保守は、ユーザ様の責任で行なわれるもので保証の適用外となります。

保証の適用と手続き

日本国内で購入された場合には、購入店へ修理依頼をお願いいたします。修理返却の場合には、納品した梱包状態、あるいは同等の梱包状態で、送料は送り主負担にてご返却下さい。Code 社は、保証期間中の修理や交換修理を米国内のサービスセンターで行います。修理は、製品を修理する場合と同等品との交換修理の二種類があり、Code 社の判断にて修理方法を選択します。また、修理により CR6000 に保存されているデータやアプリケーションなどは削除されることがありますので、修理前にデータなどの保存を行なって下さい。

総括

上に記載した保証を除いて Code 社およびコードリーダー・ジャパン株式会社は、製品適合性の暗黙、特別な目的、否侵害行為の保証制限を含めて以下に関連付けられた製品において全ての保証、特別、あるいは暗黙な保証を否認します。開始した特別な保証は、直接的あるいは間接的に製品の使用または能力に関連して生じた重大な損害の制限を含めて全ての義務、あるいは責任として障害賠償金の一部を負担します。如何なる使用方法よる結果が生じても販売先、あるいはその他（行動、契約、保証、不法行為、医療過誤などの形式に関わらず）への損害賠償金は、販売価格を上限として保証いたします。事象について Code 社およびコードリーダー・ジャパン株式会社はその可能性について助言をしたとしても重大、特別、間接、付随あるいは懲罰の損害賠償においても利益、収入、データなどの損失の責任を負うものではありません。

保証適用外

保証期間内でも次の場合には有料修理となります。

- 1) 修理ご依頼の際、保証書のご提示がいただけない場合。
- 2) 保証書の所定事項が未記入の場合、または字句が書き換えられた場合。
- 3) 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害、その他の天変地変、公害または異常電圧による故障もしくは損傷。
- 4) ご購入後の輸送、移動、作業時の落下・衝撃などお取り扱いが不適当なため生じた故障もしくは損傷。
- 5) 接続時の不備に起因する故障もしくは損傷または接続している他の機器にきいんする故障もしくは損傷。
- 6) 取扱説明書の記載の使用方法または注意に反するお取り扱いに起因する故障もしくは損傷。
- 7) 弊社以外で改造、調整、部品交換、ファームウェア変更などされた場合。
- 8) その他弊社の判断に基づき有料と認められる場合。

